コース 5 深川【ふかがわ】

粋と人情の門前町

運河・河川が縦横に走る水辺の景観を眺めながら、歴史ある寺社や庭園、下町風情を楽しみます。お江戸深川の歴史や情緒を満喫できるコースです。

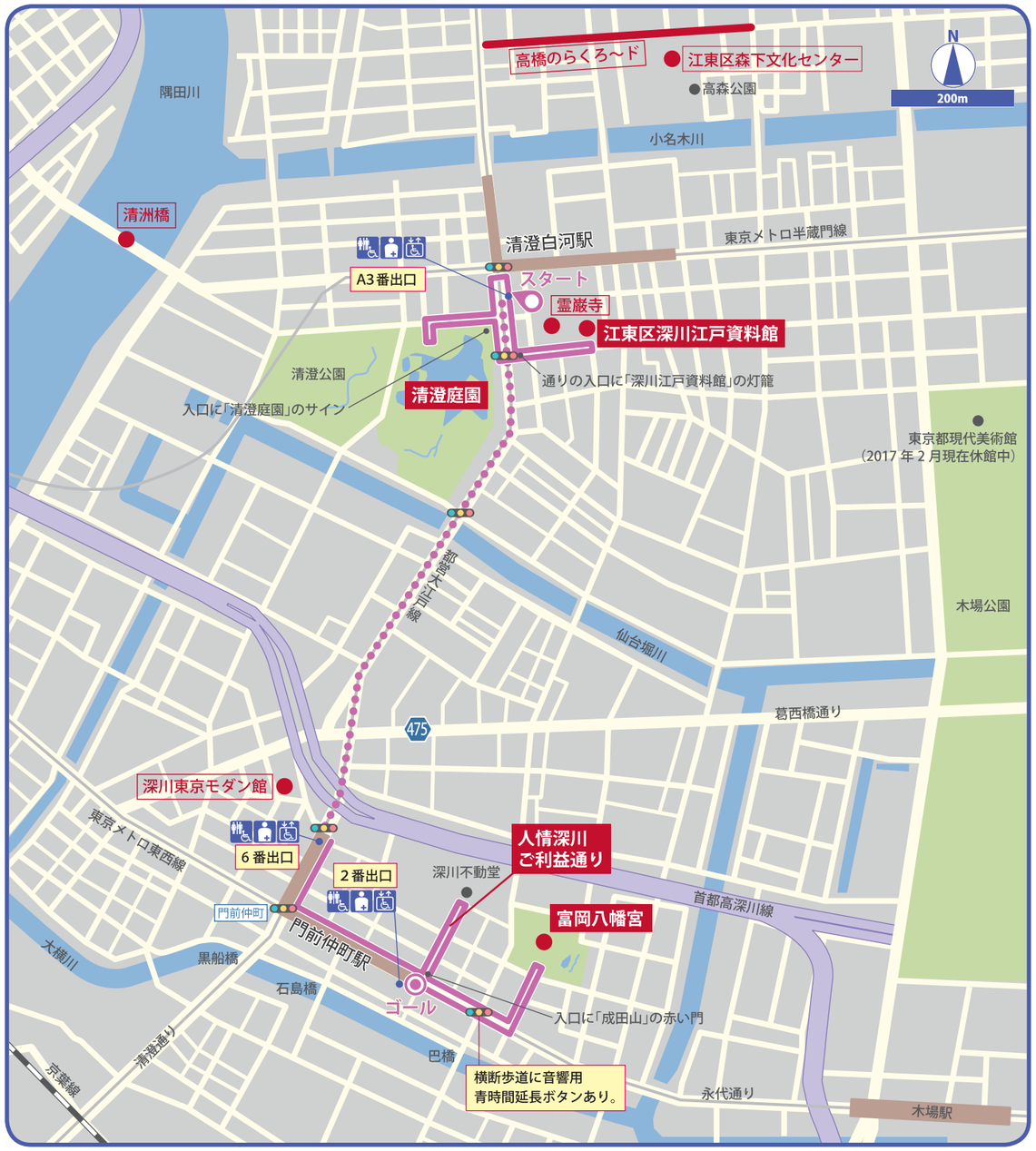
ルート

東京メトロ・都営地下鉄 清澄白河駅【A3番出口】 →[約3分] 約180m → 清澄庭園 →[約6分] 約350m → 江東区深川江戸資料館

→[約5分] 約300m → 都営地下鉄 清澄白河駅【A3番出口】 →[約2分] 1駅目 → 都営地下鉄 門前仲町駅【6番出口】 →[約7分] 約400m →

人情深川ご利益通り →[約5分] 約250m → 富岡八幡宮 →[約5分] 約250m → 東京メトロ 門前仲町駅【2番出口】

ワンポイントアドバイス おおむね平坦に移動できるコース。清澄庭園は車いす用のルート設定がある。富岡八幡宮の境内や拝殿にはスロープが設置されている。



清澄庭園（きよすみていえん） 所要30分

岩崎彌太郎が造成した泉水、築山、枯山水を主体とした「回遊式林泉庭園」。春にはカンヒザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラが咲き、お花見の場ともなっています。

段差等の少ない車いす利用者用のルート設定あり。振動を軽減するサスペンションホイールタイプの車いすの貸出あり。

☎03-3641-5892（東京都公園協会）

¥150円（高齢者・障がい者・介助者割引あり、要問合せ）
9時〜17時（入園は16時30分まで）
休 なし

江東区深川江戸資料館（こうとうくふかがわえどしりょうかん） 所要1時間

江戸時代末（天保年間）の深川佐賀町の町並みを実物大で再現しています。当時の人々の1日の暮らしを音響効果（物売りの声や火の用心等）と照明効果によって演出しています。

ボランティアガイドの説明を受けながら見学すると、江戸庶民の暮らしぶりを実感できます。

☎03-3630-8625

¥400円（障がい者・介助者割引あり、要問合せ）
9時30分〜17時まで（入館は16時30分まで）
休 第2・4月曜（祝日の場合は開館）

スタッフへの声掛けで地下1階の展示室にエレベーターでのアクセス可能。車いす使用者は、地下駐車場から直接地下1階の展示室にアクセス可能（入口のインターフォンにて解錠を依頼）。

人情深川ご利益通り（にんじょうふかがわごりやくどおり） 所要20分

永代通りから深川不動堂へと続く150mの参道です。和菓子店・飲食店・江戸小物店など40ほどの店舗が並び、仲見世らしい賑わいを満喫できます。

休 店舗により異なる

参道には段差や傾斜がなく車いすでも移動しやすい。縁日（毎月1・15・28日）は混雑するため注意が必要。

富岡八幡宮（とみおかはちまんぐう） 所要20分

江戸三大祭りの一つに数えられる「深川八幡まつり」で有名です。勧進相撲発祥の地であり相撲と縁が深く、「横綱力士碑」「大関力士碑」などが境内にあります。

☎03-3642-1315 ¥ 休 境内自由

境内の階段および拝殿の両サイドにスロープ（勾配約8度）が設置されている。拝殿横の横綱力士碑に向かう通路は勾配が10度あるため注意が必要。

境内と拝殿にスロープを設置しました。ぜひご活用ください。

周辺の観光スポット

施設名	電話番号	バリア情報・バリアフリー情報	特徴
こうとうくもりしたぶんかせんたー 江東区森下文化センター	☎03-5600-8666	1階事務室の窓口前まで点字ブロックが敷設されている。車いすでも問題なく見学可能。	漫画「のらくろ」の作者で、幼年期から青年期までを江東区で過ごした田河水泡の業績を紹介する「田河水泡・のらくろ館」、区無形文化財保持者が制作した工芸品を展示している「工匠館」があります。
たかばしのらくろ〜ど 高橋のらくろ〜ド	店舗により異なる	車道との交差点付近に点字ブロックあり。段差も解消されている。	漫画家・田河水泡の作品「のらくろ」に逢える商店街として知られています。日曜、祝日は歩行者天国を開催しています。
きよすばし 清洲橋	——	隅田川に架かる橋梁で、隅田川と小名木川の合流付近に清洲橋をよく眺められる展望所がある。	隅田川に架かる重要文化財に指定されている橋梁です。世界で最も美しいとされたドイツ・ケルンに架かるライン川の吊り橋がモデル。
れいがんじ 霊巌寺	☎03-3641-1523	出入口や境内に段差や傾斜がなく車いすでも移動しやすい。ただし地蔵尊の前は砂利敷きとなっている。	江戸六地蔵の一つである銅造地蔵菩薩や、寛政の改革を行った松平定信公をはじめ大名の墓が多く存在する由緒あるお寺です。
ふかがわとうきょうもだんかん 深川東京モダン館	☎03-5639-1776	東側の入口は建物前面がスロープとなっているので、車いすでもスムーズな入館が可能。	昭和7年に東京市営の食堂として建築されました。観光と文化の発信基地、門前仲町周辺のまち歩き拠点として利用されています。